

# 管清工業(株)

## 厚木の杜環境リサーチセンターの紹介

田中 宏治

TANAKA

Koji

管清工業(株)

生産技術部生産技術課主任



### 1. 管清工業(株)の紹介

1962年、管清工業(株)は誕生しました。創立当初は下水道管路清掃機材の商社である、日米産業(株)(現、株カンツール)の工事部門より、独立し設立され、下水道管路施設および建築物排水設備、鉄道関連の排水溝清掃や駅構内、民間工場などの点検・調査・清掃・補修の専門会社として、安全で快適な生活環境の創造に取組み始めました。以来、約60年にわたり、一貫して「管」(パイプ)の維持・管理を行い、日本の下水道インフラを支えてきました。

下水道は私たちの生活を豊かなものにしてれています。管清工業は町の大静脈である下水道の機能を守るため、点検・調査、清掃、修繕・改築すべてに対して一貫した対応を行っています。いつでも、どこでも快適な都市生活を享受できるよう長きにわたって取り組んでまいりました。これまで培ってきた経験とそれを支える技術力であらゆる下水道にまつわる課題の解決を目指しています。

### 2. 厚木の杜環境リサーチセンターの概要について

それでは本題である「厚木の杜環境リサーチセンター」(以下、本研究所)の紹介に移ります。当社は2022年4月に本研究所を開設しました。本研究所は大きな3つの目的をもっており、まず1つ目は下水道にかかわるすべての方を対象とした技術研修およびその研究・開発の目的。2つ目が災害時の避難場所・支援ベースキャンプとしての目的。そして、3つ目が自然

とふれあえる「体験機会」の場としての目的です。特に将来を担う子供たちや障害のある方々に出前授業や施設体験を通じて下水道をより身近なものと感じてもらいたいと考えています。毎日の生活で快適に下水道を使用するために、そして、災害発生時にも普段と同じように使用するためには、下水道の維持管理が非常に重要です。本研究所は地域社会のため、インフラの未来のために、貢献が期待される施設と考えています。



写真-1 施設入口の長いスロープと施設銘板



写真-2 長谷川記念館外観

## 2-1 研修施設について

ここからは本研究所の施設について紹介していきます。まず研修施設についてですが、こちらは次世代を担う技術者を育成、下水道維持管理事業の着実な技術継承とさらなる発展を目指し、公共事業部門向けには、模擬管路を敷設し研修する設備、排水事業部門向けには、アクリル板の下に模擬配管を設置し清掃状況等を可視化できる施設等、屋内外に研修設備を用意しております。特に屋外に埋設している下水道研修管路では、普段立ち入ることのできない下水道の中に入る体験が

できます。管内径1,500mmの下水道管は迫力満点です。

これら研修設備での様々な体験型現場研修を通し、知識・技術の確実な習得、業務コミュニケーションの取り方など効果的に学ぶことができる環境となっております。

## 2-2 ビオトープ、遊歩道

四季を感じることができる自然豊かなビオトープと遊歩道は、地域の皆さんの環境学習や散策、憩いの場として整備しました。メダカ、トンボ、カブトムシ、



写真-3 施設内部



写真-6 管内径φ1,500mmの下水道研修管路内部

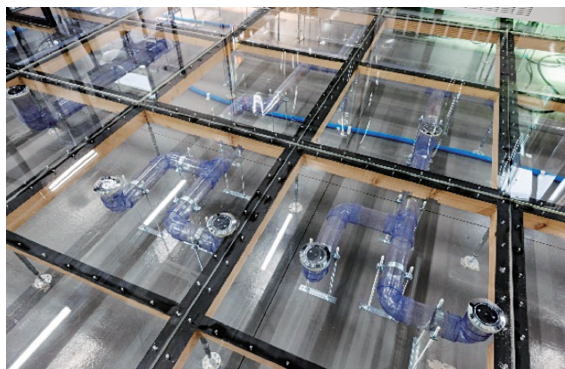


写真-4 アクリル板下の模擬配管



写真-7 井戸水を循環使用したビオトープ



写真-5 管内径φ1,500mmの下水道研修管路外観



写真-8 厚木の四季を体感できる遊歩道

ツツジ、桜、紅葉など自然に親しむことのできる場所となっています。ビオトープは自然のホタルが飛び交う姿を見ることができるよう、ホタルのエサとなるカワニナを放流し、美しいホタルの里を目指しています。また、遊歩道には管清工業にまつわる伝説が語られています。どんな伝説かは遊歩道に設置している看板で解説していますので、ぜひ訪れた際にチェックしてみてください。

### 2-3 長谷川記念館

長谷川記念館は史料展示をベースにした体感・体験型記念館です。展示している機材は年代別に、下水道の清掃・調査・補修で実際に使用された当時の機材を展示しております。展示体験を通じて、下水道の歴史と合わせて当社の設立から現在までの歴史を理解していただけたと思います。



写真-9 史料展示スペース



写真-10 年代別にならべられた展示機材

### 2-4 水まもりトイレ

厚木の杜にある、水環境を守る場所。そんな思いを込めて「水まもりトイレ」と名付けられたトイレです。円形で構成されたトイレは、円形の水庭に浮かんでい

るように見える設計で、窓から水庭の水面を眺めることができます。バリアフリーの仕様ですので、どなた様にもご利用いただけます。

厚木の杜環境リサーチセンターはまだまだ完成ではありません。2024年より第2期本棟建設工事も予定されています。是非ご家族、友人などでお越しください。土日祝祭日も利用可能ですので皆様のご来場お待ちしております。



写真-11 水まもりトイレの外観



写真-12 水まもりトイレの窓からのながめ

■ 管清工業(株)HP



■ 厚木の杜環境リサーチセンター HP

